

# 「い(生・逝)きかた」は、自分で決める 私たちが行う“人生会議”

健康福祉課地域包括支援センター ☎ (25) 1182

私たちは何らかの形で人生の最期を迎えます。どんな人生を送りたいのか、医療に何を望んでいるのかを日ごろから考え、家族など大切な人と共有しておくことが大切です。

この講座が、これからについて考え話し合える機会となることを願います。

**と き** 2月9日(木) 午後1時30分～3時

**講 師** 終活ジャーナリスト  
ライフ・ターミナル・ネットワーク代表 金子 稚子 氏



金子 稚子 氏

※講師はオンラインによる講演となります。

夫は、2012年に他界した流通ジャーナリストの金子哲雄。

夫の闘病生活や死に寄り添う中で、死がタブー視されることで起こるさまざまな問題に気づく。夫と死別後は雑誌編集者の経験を生かし、医療や葬儀・供養、遺族ケアなどさまざまな取り組みを取材。多死社会が目の前の今、起こりうる問題へ警鐘を鳴らし、情報発信や提言を行っている。

さらに、従来のもとは一線を画す“真の終活”、すなわちアクティブ・エンディングを提唱し、人々が死を捉え直し、「いきかた」を決める必要性を訴えている。

厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの普及・啓発の在り方に関する検討会」の構成員としてガイドライン改定に関わったほか、2019年からは一般社団法人日本医療コーディネーター協会共同代表理事に就任。

近著は「自分のため・家族のために今日から始める～50歳からのエンディング・ダイアリー」(駒草出版)

**と ころ** 各会場と講師をオンラインでつないで実施します。

- ①鳥羽市保健福祉センターひだまり ひだまりホール(定員40人)
- ②相差女性活動センター(定員30人)
- ③桃取コミュニティセンター(定員30人)
- ④神島開発総合センター(定員30人)
- ⑤菅島診療所(定員10人)

**申し込み** 1月31日(火)まで

健康福祉課地域包括支援センター ☎ (25) 1182 または  
申し込みフォーム(<https://logoform.jp/f/hiuss>)から申し込んでください。



申し込みフォーム

【主催】鳥羽市在宅医療・介護連携部会 【共催】志摩医師会・鳥羽市

## 令和4年度 鳥羽市運動施設自主事業参加者募集

鳥羽市民体育館 ☎ (25) 6215

**申込方法** 鳥羽市民体育館(☎(25)6215)へ申し込んでください。

※月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日の平日は休館日  
※12月29日～1月4日まで休館日となります。

**参加費・対象・定員など** 自主事業一覧表のとおり

**その他**

※自己都合によるキャンセルの場合は料金を負担していただきます。  
※申し込みが少ない場合は、中止させていただくことがあります。  
※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止・変更となる場合があります。

### 令和4年度 2月から開催する鳥羽市運動施設自主事業のご案内

教室名	開催日	時間	内容	持ち物	参加費	対象	定員	場所
学びながら楽しんで描く絵画教室	2/5(日)	2/19(日)	花や果実・野菜などの静物画や自由画・人物画を楽しみながら学ぶことができます。	水彩絵の具セット	4回: 2,000円	小学1年生から3年生	15人	市民体育館 中会議室
	3/5(日)	3/19(日)						